



# 特集 プレコンセプションケア

～全ての人がより良い生活や人生を送れるように～

埼玉県助産師会には、子育て・女性健康支援センターの傘下に、思春期保健事業・電話相談事業・その他の事業があります。電話相談事業では、2009年度から「子育て・女性健康支援センター電話相談」（助産師会主催）、2014年度から「不妊・不育症・妊娠サポートダイヤル」（埼玉県委託）2つの電話相談事業を継続していました。令和5年度（2023年）より、「不妊・不育症・妊娠サポートダイヤル」（埼玉県委託事業）は「ぶれたま」として生まれ変わり、これまでの不妊・不育症・妊娠相談に加え、思春期から子どもや学生、保護者、教育現場の関係者からも相談を受けることになります。また、思春期保健事業は講師派遣と県委託の出前講座等実施していましたが、こちらも令和5年度（2023年）からプレコンセプションケア普及啓発事業となっていきます。

新規展開となった2つの事業、プレコンセプションケア相談センター埼玉「ぶれたま」と  
プレコンセプションケア普及啓発事業について紹介します。



## 特集

①

## フレコンセプションケア相談センター埼玉「ぶれたま」

子育て・女性健康支援センター 電話相談事業主任 高橋 麻里子

電話相談事業では、令和5年4月1日より委託事業の内容変更があり、旧事業「不妊・不育症・妊娠サポートダイヤル」に相談内容・時間が拡充され、プレコンセプションケアも含まれた電話相談となりました。「ぶれたま」では、思春期の子どもや学生、保護者、教育現場の関係者などからの相談もできるよう案内し、相談者が迷わないようビジネスフォンを導入、相談事を選択できるようにしました。これまで思春期の相談は年間50~60件ほど受けており、旧事業の内容と合わせると委託事業で受ける相談は年間約260件の見込みです。

今年度は「気になる相談ケースの振りかえり」や思春期保健事業と連携した「ぶれたま研修会」（6月10日開催済）で、未来を担う子どもたちが体や心の理解を深め、これから的人生に必要な自己決定能力を育めるように、電話相談員のスキルアップを目指していきます。

「ぶれたま」が必要な方に利用いただけるよう、関係各所への周知と応援をお願いいたします。



### フレコンセプションケア相談センター埼玉「ぶれたま」 TEL 048-799-3613

**目 的** — 中高校生等思春期にある子ども・保護者・教育関係者等へ、思春期の健康、将来の妊娠を踏まえた日々の健康相談や、自己決定能力を育む支援を行うとともに、不妊・不育症及び妊娠に関し悩む夫婦等を対象として、課題や健康状況に応じて医療面だけでなく、心理・社会面など総合的に配慮した相談対応を行う。

**事業開始** — 令和5年4月1日開始

**開 祖 日** — 月・金曜日：10:00~15:00

第1・2・3・4土曜日：11:00~15:00 16:00~19:00

祝休日・年末年始を除く年間140日前後

**実 施 者** — 埼玉県助産師会電話相談員（11名在籍、うち生殖医療相談士1名）

**相談内容** — 助産師会事務所にて匿名での個別電話相談（1回線）を受ける。

従来通り県内外からの相談者を想定。相談者が安心して悩みを話し、自己決定できるように倾听を心がけ、必要な情報提供を行う。思春期保健事業とも協力し対象者への相談対応にあたる。

\*上記委託事業の時間拡充に伴い、併設している「子育て・女性健康支援センター 電話相談」を  
月・水・金・第1・2・3・4土曜日に対応とし、年間190日前後開設予定。

## フレコンセプションケア普及啓発事業について

子育て・女性健康支援センター 思春期保健事業主任 宮崎 ゆき子

埼玉県保健医療部健康長寿課より令和5年度受託している事業です。昨年度までの「思春期セミナー」「大学生のための性と生の健康講座」「妊娠・出産・不妊に関する出前講座」を合わせて「フレコンセプションケア出前講座」となりました。なかでも大学生・専門学校生(U25)対象には、公益社団法人日本助産師会のCoReめろ®プログラムを受講したメンバーが講師を務めその実践に取り組んでいます。

今年度の取り組みは、(1)「フレコンセプションケアに関する研究会」8月1日 埼玉県地域医療教育センター  
講師：渡辺大輔准教授 埼玉大学基盤教育研究センター 「性の多様性」講演、(2)「フレコンセプションケア出前講座」中・高・大学生・専門学校生等を対象に、40校予定。

「フレコンセプションケアプログラム」の実践により、前思春期から多様な背景を持つすべての人の性自認・性的指向(好きになる人がいてもいなくても)に関わらず、今と未来に向き合う性と生の健康と幸福のための自己決定支援に寄与することを目的とし、思春期保健事業登録メンバーのうち10名が「フレコンセプションケア出前講座」の講師を担当しています。未来を担う子どもたちへの支援をメンバーが一丸となって推進してまいります。



埼玉県委託事業 出張講座

### 「SRHR」性と生殖に関する健康と権利

於：草加西高等学校

6月29日、草加西高等学校全校生徒700名とその保護者、教員を対象に講義が行われました。講師は春日部地区の日野暁子助産師です。「SRHR」とは性に関することを自分で決められる権利をいい、充分な情報を得て自分で選択する、社会的に認められ、心身ともに満たされ幸せである、という導入から始まりました。体の性について、思春期女性の月経周期や男性の夢精や射精、セルフプレジャーの説明に続き、月経周期の考え方や精子が作られる場所などスライドを見ながら生徒皆さんも参加していました。その後、性的同意

「安心・安全・対等・同意」については、よく話し合い相手の同意を得ることが大事であると話されていました。PMS、月経困難症、避妊やアフターピル、性感染症予防については正しい知識が必要である事、妊娠の可能性がある場合は妊娠検査薬で調べる、家族や信頼できる大人へ相談し受診する。妊娠の継続・中断の選択の権利もあると説明されていました。「#つながるBOOK」もネットで見られるので参考にしてほしい、と丁寧に言葉を選びながら話されていました。最後に講師の日野さんへ①講座で気を付けていること②伝えたいこと③大切にしていること、3つの質問をしました。日野さんは、生徒

間での温度差もあり言葉使いに気をつけている、なるべく専門用語を使用せず、性に対して曲がったイメージを持たれないよう話している。個々の出自や複雑な環境もあり、命の大切さについて触れることはしていないが、事後アンケートでは「命が大事」「自分と他人を大切にしよう」と意見を書いてくれる生徒もいる。今はわからなくても後々振り返り気付いてくれればいいと、返答してくださいました。日野さんの温かな言葉や 生徒皆さんのが真剣な表情で聞いている姿が印象的でした。

(広報委員 佐藤 由紀子 川越地区)

